

私の渇きを満たしてください！

詩篇 42：1～5



【詩篇 42 篇 1～5 節】

- 1 鹿が谷川の流れを慕いあえぐように、神よ。私のたましいはあなたを慕いあえぎます。
- 2 私のたましいは、神を、生ける神を求めて渇いています。いつ、私は行って、神の御前に出ましょうか。
- 3 私の涙は、昼も夜も、私の食べ物でした。人が一日中、「おまえの神はどこにいるのか」と私に言う間。
- 4 私はあの事などを思い起こし、私の前で心を注ぎ出しています。私がああ群れといっしょに行き巡り、喜びと感謝の声をあげて、祭りを祝う群衆とともに神の家へとゆっくり歩いて行ったことなどを。
- 5 わがたましいよ。なぜ、おまえはうなだれているのか。私の前で思い乱れているのか。神を待ち望め。私はなおも神をほめたたえる。御顔の救いを。

「渇き」

人の思いや行動をうながす最も深いところにある。

人が生きていくための必要が欠乏するときに感じる、満たされない空洞のようなもの。

何に渇く？ 愛、真理、・・・。

自分の渇きに気付かないうちは、満たすことのできる神を求めようとはしない。

他のもので、その渇きを埋めようとする。

義に飢え渇いて者は幸いです。その人は満ち足りるからです。 マタイ 5:6

この水を飲む者はだれでも、また渇きます。しかしわたしが与える水を飲む者はだれでも決して渇くことはありません。わたしが与える水はその人のうちで泉となり、永遠のいのちへの水がわき出ます。 ヨハネ 4 : 14

- ◆自分の生活に問題を抱え、周囲にも白い目で見られていたサマリヤの女性は、イエスさまと話しているうちに、自分の心が渇いていたことを自覚し始めた。そして『その水を私に下さい』ということが出来た。

わたしは、渇く者には、いのちの水の泉から、価なしに飲ませる。 黙示録 21:6
渇く者は来なさい。いのちの水がほしい者は、それをただで受けなさい。 黙示録 22 : 17
難しいことは何もない。求めて、受け取るだけでよい！

聖書の中で、究極の渇きを訴えられたのは十字架上のイエスさま。
イエスは、すべてのことが完了したのを知って、聖書が成就するために、
『わたしは渇く』と言われた。 ヨハネ 19 : 28

- ◆罪ある者が受けなければならない永遠の渇きを、罪びとに代わって受けてくださった。イエス・キリストの渇きは、私たちの救いのための渇きだった。ご自分が渇くことによって私たちの渇きをいやしてくださった。

わがたましいよ。なぜ、おまえはうなだれているのか。なぜ、私の前で思い乱れているのか。
神を待ち望め。私はなおも神をほめたたえる。私の顔の救い、私の神を。

【42章5節、11節、43章5節】